

Y15a The impact of pop culture on astronomy and astrophysics terminology.

山崎大 (茨城大学), 日下部展彦 (アストロバイオロジーセンター/国立天文台), 川越至桜 (東京大学)

世界的に人気が高い漫画、アニメ、それらのメディアミックス等のポップカルチャーが、天文学・宇宙科学用語の大学生の認知度と理解度に与える影響を調査するために、天文学・宇宙物理学の自然科学教養授業（自然科学系リベラルアーツ科目）において、天文学・宇宙物理学の科学用語とポップカルチャーの関係性のアンケートを実施し、その結果を解析した。その結果、一部の用語においては、日米の著作・映像作品（ドラえもん, DRAGON BALL、天元突破グレンラガン、Doctor Strange in the Multiverse of Madness、Spider-Man: Across the Spider-Verse 等 [1-5]）の影響が無視できないことが分かった。本研究では、これらの解析結果を踏まえ、科学用語を理解する際のポップカルチャーの影響と社会・教育的なインパクトを考察した。これらの考察から、科学・天文教育にポップカルチャーを活用できるのか、活用できた場合はどのような形になるか、についても議論した。

[1] 藤子・F・不二雄, 1974-1996, ドラえもん (全 45 巻, てんとう虫コミックス, 東京: 小学館). [2] 鳥山明, 1985-1995, DRAGON BALL (全 42 巻, ジャンプ コミックス, 東京: 集英社). [3] 今石洋之監督, 2007, 天元突破グレンラガン, 放送局: テレビ東京系列, 制作: GAINAX, 製作: テレビ東京, KDE-J, 電通, ANIPLEX. [4] Samuel M. Raimi, 2022, Doctor Strange in the Multiverse of Madness, (Production company: Marvel Studios, LLC, Film distributor: Walt Disney Studios Motion Pictures). [5] Dos Santos, J. Powers, K., Thompson, J. K., 2023, Spider-Man: Across the Spider-Verse, (Production company: Columbia Pictures, Marvel Entertainment, Sony Pictures Animation, Pascal Pictures, Lord Miller Productions, Arad Productions, Film distributor: Sony Pictures Releasing).